

第32回理事会・第17回評議員会報告

(財)おかやま環境ネットワーク

日時：2006年10月21日(土) 14:00～15:30

出席：理事会 = 16名(内委任8) 監事：2名 議長：青山、議事録署名人：田中・野上
：評議員会 = 15名(内委任8) 監事：2名 議長：吉永、議事録署名人：伊藤・奥田

〔報告・承認事項〕

1. 2006年9月末の会費納入状況、決算報告、中間監査の報告がありました。

9月末会費納入状況は、個人80・団体48・法人104・合計232会員で、昨年同期の243会員を下回っています。新規会員は31(個人14、団体17)で昨年同期6を大きく上回っており、団体会員数は過去最高となっています。一方、企業会員の退会・会費未納が目立っており、新しいチャネルの開拓が求められています。

9月までの収入は、事業収入は予算・前年ともに上回っていますが、会費収入がともに下回っており、収入全体では、予算比94.2%、前年比95.5%となっています。事業費は、衣笠基金を除くと予算・前年ともに下回っています。管理費も予算比94.7%、前年比92.6%となっています。当期収支は121万円の黒字で、予算比+129万円、前年比-16万円です。

2006年度上期の監査が行われました。会計諸帳簿・現金・預金・領収書綴り・支払い明細綴りなどの点検を行いました。指摘事項は、特にありませんでした。

2. 事業などの報告がありました。

環境講座「自然とくらし」の参加者は34名です。昨年の「市民環境リーダー養成講座」通し受講者が11名でしたので、「参加しやすくして、参加者を増やす」ねらいは、一定の成果を収めました。

企業環境塾の受講者は、10社14名です。昨年の14社24名を下回りました。

ホテル連絡会が開催され、この間の活動交流と10月28日(土)に開催される第4回ホテルフォーラムの具体化について検討しました。

環境家計簿PJが開催されました。データ提供者は、昨年をやや上回って推移しています。2007年版エコライフカレンダーの作成にとりかかっています。

テーマ別講座「台所を出たプラスチックごみはどこへ行く」が開催されました。参加者は32名でした。エコファミリー講座のまとめが報告されました。参加希望者が多く、施設などの条件いっぱいの23家族75名の参加でした。全体としては大好評でしたが、宿泊施設の狭さ、企画内容の充実の一方でゆとりのないスケジュールであることなどが指摘されています。

3. その他

公益法人改革関係法が6月に公布されました。これは、主務官庁制・許可主義を廃止し、法人の設立(簡素化)と公益性の判断を分離するものです。公益性の判断は、民間有識者による委員会で判断されます。公益性の判断基準は15項目ありますが、おかやま環境ネットワークは基本的には要件を満たしています。判断基準の詳細は、今後省令・政令で定められます。法は、2008年秋～冬に施行される見通しで、定款の変更など必要な対応を行い、公益財団法人へのすみやかな移行をめざします。

岡山県情報・学習プラザ(仮称)の設立に向けて論議を積み重ねてきました。設立趣意書・組織のあり方・規約・事業計画などがほぼまとめられる段階に達しましたが、県の来年度予算に計上されない見通しになってきました。県の説明を受けて、今後の対応を検討します。

〔協議・決定事項〕

1. 2007年度(第9回)環境活動団体助成事業について提案があり、確認されました。2006年11月に募集を行い、2007年2月の理事会で、助成団体・助成額などを決定します。

2. おかやまエネルギーの未来を考える会より、「地域の温暖化対策 先進事例報告・交流会」の後援依頼があり、後援することになりました。

3. 所属団体の役割変更に伴い、勝土廣理事・田中照周理事より辞任の申し出がありました。後任の理事として、秋山秀行氏・近藤清氏を選出しました。秋山秀行氏は、理事就任に伴い、評議員を辞任されました。

次回理事会 12月9日(土)15:00～17:00、オルガ5F会議室